



今月の主な内容

- 卒業式
- 町政執行方針
- ゼロカーボン宣言

今月の表紙

学校・先生・仲間と涙のお別れ
富美小学校卒業証書授与式



旅立ちの日に

小・中・義務教育・高等学校で卒業式

固い絆で結ばれた仲間との抱えきれない思い出を胸にそれぞれの目標に向かい学校をあとにしました。
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



令和6年度 町政執行方針

4月から新しい年度が始まりました。この1年間、どのようにまちづくりを進めていくのか、3月の町議会定例会で刈田町長が町政執行方針を述べ、その実現に必要な予算が決定しました。「人と自然が輝くオホーツクのまち」を目標に掲げる町政の執行方針（要旨）と令和6年度予算の概要をお知らせします。

はじめに

町政の重責を担わせていただくことになってから早くも2年4カ月が経過し、任期の折り返しを過ぎたところであります。この間、まちづくり懇談会などさまざまな機会を通じ、町民の皆さまとの対話を重ね、町政に対する多くの貴重なご意見をいただいております。

年々、多様化・複雑化する社会にあって、行政が取り組むべき施策や解決しなければならぬ課題は山積しておりますが、町民の皆さまから寄せられた声を施策に反映できるよう、前例にとらわれないことなく、スピード感を持って対応してまいりますと考えております。

これからも変化を恐れずに、30年後・50年後の湧別町の未来を思い描きながら、「町民が安心して暮らせる持続可能な地域社会の実現」をめざし、全身全霊で取り組んでまいります。

町政を取り巻く諸情勢

わが国の経済情勢は、「景気は、このところ一部に足踏みもみられるものの、穏やかに回復しているとされ、先行きについては、雇用・所得環境が改善するもとで各種政策の効果もあって、穏やかな回復が続くことが期待されるが、世界的な金融引き締めにもなう影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがリスクとなっており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市

場の変動、さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。」とされております。

政府は、経済財政運営と改革の基本方針2023において、物価高騰や景気の下振れリスクへの当面の対応を示しつつ、新しい資本主義の実現に向けた取り組みとして「構造的賃上げ実現、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の抜本的強化等」を掲げています。

地方行政においては、引き続きデータとデジタル技術の活用やクリーンエネルギーの活用による社会システムの変革を推進するとともに、こども・子育て政策の強化、地方への人の流れの強化による地域づくりの推進などに取り組み、また、従前からの課題である防災・減災対策やインフラ施設の長寿命化、人への投資などに係る新たなサービス需要の増加といったさまざまな課題に対処していくことが求められています。

このような状況のなかにも、第3期湧別町総合計画の理念である「人と自然が輝くオホーツクのまち」の実現をめざし、まちづくりの礎となる計画を円滑に推進していくため、限られた財源の有効活用を図りながら、行財政運営全般にわたり厳しく見直しを行うとともに、未来志向のなかでスピード感を持つ必要がある町民ニーズに応えられる行財政運営を行ってまいりたいと考えています。

令和6年度の「重点施策」

ゼロカーボンの推進

- 2050年までにゼロカーボンを目指し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを推進します。
*ゼロカーボン 二酸化炭素を含む温室効果ガス排出量を実質ゼロにすること
- 脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めるため、町民・事業者・行政による協議会を設置します。
- 公共施設の照明器具のLED化を進めます。
- EV（電動車）の公用車を導入し、災害時の非常用電源としての活用と併せ、省エネ・再エネの推進を図ります。



- 脱炭素化の新しい選択肢として示されたブルーカーボンについて、湧別漁港周辺の海域にメタン発酵消化液を活用した水畜連携による藻場造成の実証試験に取り組みます。

● ***ブルーカーボン** 海洋生物により、大量に二酸化炭素を吸収・貯留される炭素のこと

- 今後、役場新庁舎のZEB化、更新時における公用車のEV化を進めるとともに、本年度策定予定の「地球温暖化対策実行計画・区域施策編」に基づき、取り組みを加速していきます。

● ***ZEB化** ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略で省エネ機器を駆使してエネルギー使用量を多く減らし、減らせない分を再生可能エネルギーを利用して賄おうという考えで設計・建設された建物のこと

子育てしやすいまちづくり

- 子育て世代包括支援センターを支援拠点とし、認定こども園や保育所、子育て支援センターなどの母子関連施設と連携を図ります。
- 児童虐待対応の拠点機関として「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるように子育て環境の充実に努めます。
- 国が策定した「こども未来戦略」の方針に基づき、児童手当の支給

- 対象年齢を18歳まで拡充します。
- 芭露保育所の改築に向け実施設計に取り組みます。
- 町内の子どもたちが必要なときに教育・保育が受けられるよう、認定こども園や保育所の環境の充実に取り組みます。
- 子育て世代の経済的支援とともに、より一層子どもを産み育てやすいまちづくりを進めるため、保育料の完全無償化を実施します。



産学官連携によるまちづくり

- 人口減少、若い世代の転出によって、地域の担い手不足が課題であることから、外部有識者や町民とともに、地域力を高めるための具体的な取り組みを議論します。
- 保育園留学の実施に向け、都会に住む子育て世帯に対して本町の恵まれた自然環境や地域資源、食の魅力、子育て支援策などを発信するとともに、滞在期間中、快適に過ごせるように移住体験住宅の整備

備を行います。

- 産業と地域の活性化を推進するため、団体間の情報共有、町外への情報発信、特産品PR事業に加え、新たに「地域体験型観光の実証実験」「団体・職域を越えた交流の場の提供」「産業後継者を対象にした結婚支援イベントの開催」などに取り組みます。

- 新たな特産品として、友好都市の「新篠津村産」酒米を原料に、湧別町商工会、湧別漁業協同組合、町外企業と連携して日本酒づくりに着手します。

- 完成した日本酒をサロマ湖内で海洋成熟させることにより、独自性やストーリー性、付加価値を生み出すためのブランディング実証試験に取り組みます。

● ***ブランディング** ブランドの価値を高めるための施策のこと

- 包括連携協定を締結している北海道大学大学院と、地域の活性化、教育、スポーツ振興などで連携していきます。

- 地域の人材育成や確保、若年層の地元定着を主な目的とし、地方で働きながら高等教育を受けられる環境づくりを自治体とともにめざしている小樽商科大学と、どのような形で連携できるのか、産業団体や企業などと検討します。

自治体デジタルトランスフォーメーションの推進

- 国が策定した自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画に基づき、自治体システムの標準化や行政手続きのオンライン化などに計画的に取り組みます。

● ***デジタルトランスフォーメーション** デジタル技術を活用して、業務の手順や方法の改善や新しい商品・サービスを創出し、人々の生活をより良いものへと変革していくこと

- 令和7年度からの基幹業務システムの全国的な統一・標準化への移行に向け、18業務を司る総合行政システム、戸籍システムなどを更新します。

- 24時間いつでもどこでもオンライン申請ができる「電子申請システム」、申請書などへの手書き負担を軽減する「窓口支援システム」、マイナンバーカードによる図書の新着出しを可能とする「図書館システム」を導入します。

- 「統合型地理情報システム(GIS)」に機能を追加し、住民がインターネット上で津波・洪水・土砂災害ハザードマップを閲覧できる環境を整備します。

- 業務の効率化、災害時の業務の継続性を強化するため、職員間の業務連絡や文章生成AIとしても活用できる自治体専用のビジネスチャットツールを導入します。

***チャットツール** パソコンやスマートフォンなどの電子機器を活用し、対話形式で情報交換が可能なコミュニケーション方法のこと

- 町民がデジタル化の恩恵を享受できるよう、マイナンバーカードの普及促進に努めるとともに、カードの利活用シーンの拡大を推進し、住民の利便性と行政サービスのさらなる向上を図ります。

- デジタル活用に不安のある高齢者への情報格差対策のため、スマホ教室などを開催し、オンライン申請などに対する抵抗感を払拭し、定着を図ります。



行政機能の集約化

- 行政機能の集約化に係る庁舎の建設について、北海道内で唯一、合併新法で合併した本町だけが使える財源である合併推進債が令和6

年度で借入れ期限を迎えることから、予定しているスケジュールどおりに基本設計、実施設計へと着実に進めるよう、町民に丁寧に説明していくとともに、議員と慎重に協議を重ねていきます。

令和6年度の「主要な事業」

安全・安心で快適に暮らし続けられるまちづくり

定住促進・住宅環境

- 個人の持ち家を奨励し、特に子育て世代や転入者に対して手厚い支援を行います。
- 民間資金を活用した賃貸住宅や社宅の建設に支援します。

公営住宅

- 公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的に整備を進め、住宅環境の向上を図ります。

高規格道路旭川・紋別自動車道

- 遠軽上湧別道路の早期着工と、それ以降の新規事業化に向けて要望活動を続けます。

空き家対策

- 利活用可能な空き家の流通促進・賃貸住宅化への支援を行います。
- 町で空き家を借り上げ改修し、賃貸住宅としての利用を進めます。
- 不用な空き家の除却費用に支援します。

公共交通

- 佐呂間町が運行するふれあいバス北見線に乗り継ぐことができる新たな路線を整備し、北見市への移動手段を確保します。

ごみの収集・処理施設

- ごみの減量が進むよう、分別の徹底やリサイクル意識の向上を図るとともに、適切で効率的な収集体制の構築に取り組みます。

防災

- 地域の防災力の強化のため、自主防災組織の設立、活動強化に対する自治会への支援を行います。
- 防災の知識や能力を身に付けてもらうため、学校や地域における防災教育を推進します。



交通安全

- 町内における交通事故死ゼロ目標を1000日に設定し、交通安全思想の普及啓発に努めます。

犯罪被害者支援

- 犯罪被害者などへの支援条例を整備し、安全で安心して暮らすことのできる地域社会をめざします。

豊かな自然と産業がとも息づく活気あふれるまちづくり

農業

- 両農業協同組合との連携を深め、農業振興策を推進します。
- 家畜排せつ物の処理時の環境負荷軽減を目的とした集中型バイオガスプラントの稼働に向け、引き続き支援します。

漁業

- 「つくり育てる漁業」の推進と漁業生産の安定確保に向け、湧別漁業協同組合と連携を図り、漁業振興策を推進します。
- 外国人技能実習生などの従業員確保のための宿舍の建設、中番屋地区導船物揚場の岸壁の補強・拡幅を行う整備事業に支援します。

林業

- 私有林の整備や森林整備を担う人材確保に支援します。

商工業

- 起業と雇用の創出、商工業の振興と安定を図るための支援をします。
- 旧北海道銀行中湧別支店店舗を商工業振興の新たな拠点とし、地域経済の活性化と賑わいのある商店街の形成を目指します。



観光

- 豊かな地域資源を広く国内外へ情報発信をして誘客を図ります。
- 近隣観光地との周遊性を高める取り組みや観光PRを行い、持続可能な観光の推進を図ります。
- チュールリップフェアなど、湧別町ならではの観光イベントの充実を図ります。



- 合併15周年を記念した花火大会を行い、誘客に加え、町民が地域の魅力を知り愛着や誇りを持てるような観光振興の実現を図ります。



地域おこし協力隊

- 地域・教育魅力化コーディネーターとして1人の方が湧別高校へ、介護士としてインドネシア国籍の2人の方が町内社会福祉法人に着任されるので、既存隊員とともに日常生活や業務において不安を感じることがないよう支援します。

誰もがいきいきと笑顔で暮らせる
ぬくもりのあるまちづくり

健康づくり

- 総合健診や予防接種をはじめとした各種保健事業を実施し、健康維持に向けた活動をします。

地域医療

- 地域医療を守り続けるため、2次医療機関の遠軽厚生病院とゆうゆ

障がい者福祉

- 第7期湧別町障がい者基本計画・障がい福祉計画、第3期湧別町障がい福祉計画に基づき、障がいのある方々が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう各種事業を実施します。

高齢者福祉・介護保険

- 高齢者の方々が自立した生活を送ることができるよう、支援体制の充実・強化、健康維持を図るため、介護予防事業や老人会など高齢者への支援を推進します。
- 7月1日の合併に向けて準備を進めている両福祉会に対し、円滑に合併が進むよう支援するとともに、合併後も地域に根差した福祉サービスの拠点としての役割を担っていただけるよう支援します。

母子保健

- 保護者と生まれてくる子どもの早期歯科予防を図るため、妊婦や配偶者などに歯科健診費用の一部を助成します。

子育て支援

- 乳幼児健診や相談事業、保健師による家庭訪問や出産子育て応援給付金事業などを通じ、妊娠期から出産・子育て期にわたり、困難を抱える妊婦・子育て世帯に寄り添う伴走型支援をします。



豊かな心とふるさとを愛する
心を育むまちづくり

学校教育

- 令和7年4月に開校する上湧別地区義務教育学校の施設整備として、現在の上湧別中学校の校舎改修工事を行うとともに、開校に向けた準備を進めます。
- 小中一貫教育を推進し、新しい時代にふさわしい教育を実現するための学校づくりを進めます。

学校給食

- 食材価格の高騰が続いているが、子育て世代の負担を軽減するため、給食費を据え置きます。

湧別高等学校の魅力化・存続対策

- 1学年2週間確保に向けて、公設塾や学生寮の整備を検討するなど、できる限りの施策を取り入れ、持続可能な魅力ある高校づくりに取り組めます。

国際交流

- 町民の国際理解および国際感覚を養うため、カナダ・ホワイトコーブト町とニュージーランド・セルウィン町の両友好都市との友好親善を推進します。

町民一人ひとりが支え合い助け合う思いやりのあるまちづくり

行政運営

- 自治基本条例に基づいた町政運営を進めるとともに、自治推進委員会による条例の点検・見直しの検討を行います。
- 第3次行政改革大綱に基づき、PDCAサイクルにより事務・事業の実施プロセスや成果の検証を行い、効果的で効果的な行政運営に努めます。
- PDCAサイクル Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことにより、業務を継続的に改善していく手法のこと

人材育成

- 質の高い行政サービスを推進するため、職員の積極的な研修参加を

進めるとともに、文部科学省と北海道に職員を派遣し、町民のニーズに的確に対応できる人材育成を図ります。

広報

- 広報ゆうべつ、ホームページ、SNSを活用しながら効果的・効率的に地域の魅力から身近な情報まで幅広く分かりやすい情報発信に努めます。

広聴

- 町長とのふれあいトークや地域担当スタッフ制度、まちづくり懇談会、町長への手紙などの機会に加え、町民の思いを聴く機会を拡充し、町民との対話を基本とするまちづくりに取り組めます。

地域コミュニケーション活動支援

- まちづくりの基本は、地域づくりであり、町民にとって身近なまちづくりの参加方法は、地域コミュニケーションの代表である自治会への参加ですが、高齢化や担い手不足、住民同士のつながりの希薄化など、将来的な自治会活動の存続が危惧されることから、持続可能な地域づくり、自治会活動を維持するため、地域の活性化計画の策定推進に取り組めます。

多文化共生

- まちづくりを支える重要な担い手

である多くの外国人の方々が安心して日常生活を過ごせるよう、多文化共生の地域社会について検討を進めます。

ふるさと納税

- 町外事業者との連携・協体制の強化を図りながら、豊富な地域資源を生かした新たな特産品などの開発や魅力・イメージアップに取り組む町内事業者に支援します。
- 都市部への情報発信の強化や寄付受付ポータルサイトの充実など、ふるさと納税制度を活用した産業の活性化、特産品の販路拡大、知名度向上を図ります。

*ポータルサイト

- パソコンやスマートフォンなどインターネット上で欲しい情報を閲覧・確認したいときに最初に表示される場所のこと
- 企業版ふるさと納税をしていただけるように、まちづくりの重要施策を対外的に発信します。

eスポーツ

- 湧別高校eスポーツ部の活動支援、屯田七夕まつりでの体験会、小学生向けデジタル講座、町民ワークショップの開催に加え、新たに介護予防レクリエーション教室を開催して、住民理解と気運の醸成に取り組めます。

*eスポーツ

- エレクトロニック・スポーツの略称で、コンピュータゲームをスポーツ競技として捉える際の名称のこと

*ワークショップ 参加者の主体性を重視した体験型の講座・グループ学習・研究集会のこと

予算編成

町民の福祉向上を最優先に、住民生活の安定と町の持続的発展に向け5つの施策に重点を置いて編成しました。(詳細は10ページ「まちの予算」)

むすび

本年は、平成21年10月5日に旧上湧別町と旧湧別町が合併して新たな「湧別町」が誕生してから15年の節目の年を迎えます。

私たちには、先人たちが幾多の困難に立ち向かい、守り育ててきた豊かな自然環境や、築き上げてきた歴史・文化を次の世代へ引き継いでいく責任があります。

子どもが生まれ育ち、やがて旅立つ日を迎えます。この湧別で生まれたこと、この湧別で過ごしたことを誇りに思い、いつの日かまた戻ってきてくれる、湧別をそんな町にしたいと考えています。

湧別町は「ゼロカーボンシティ」を目指します

令和6年第1回湧別町議会定例会（3月6日）の町政執行方針の中で、2050年までに二酸化炭素（温室効果ガス）排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。



ゼロカーボンとは？

社会活動や経済活動による二酸化炭素の「排出量」から、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。ゼロカーボンを実現するには、再生可能エネルギーの導入や省エネの推進などにより二酸化炭素の排出量を減らすことが必要です。

なぜ「ゼロカーボンシティ」を目指すの？

近年、地球温暖化に起因すると見られる猛暑や集中豪雨などの自然災害が多発して世界各地で大きな被害をもたらしており、その対策は喫緊の課題となっています。

このまま温暖化が進むと、さらなる異常気象、氷河の減少、海面上昇などを引き起こすおそれがあり、私たちの生活環境を守るためにゼロカーボンの実現に向けた取り組みが必要とされています。



湧別町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指します～

近年、地球温暖化が原因と見られる気候変動の影響により、世界各地で深刻な自然災害が発生しています。また、我が国においても、猛暑や集中豪雨、大型台風などが頻発し、その災害も激甚化するなど、気候変動問題は私たちの生活に大きな影響を及ぼしており、その対策は喫緊の課題となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温の上昇を産業革命前と比べて1.5℃に抑える努力をする」目標が世界で共有され、我が国においても、2020年に『2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す』ことを宣言し、さらに翌年には、2030年度までの温室効果ガス削減目標を2013年度比46%削減を表明し、地球温暖化対策への取り組みの強化が図られてきております。

本町では、これまで地球温暖化を加速する温室効果ガスの発生を抑えるために、再生可能エネルギーを利用した発電施設等の誘致、公共施設等のLED照明化や家畜排せつ物の処理における環境負荷軽減を目的としたバイオガスプラントの整備などに取り組んできましたが、さらなる地球温暖化対策に取り組む必要があります。

未来を担う次世代に、先人から引き継いだ豊かな地域資源や環境を大切に守りながら引き継いでいくために、町民・事業者・行政の「オール湧別」で脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進め、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする『ゼロカーボンシティ』を目指すことをここに宣言します。

令和6年3月6日

湧別町長 刈田智之

子どもを産み育てやすいまちへ

保育料の完全無償化、児童手当の拡充など今年度の取り組み

湧別町は、子育てしやすいまちづくりをめざし、安心して子どもを産み育てられるよう、さまざまな施策を行っています。

4月からさらに経済的支援などを拡充しましたので、お知らせします。

保育料を0円に

児童の年齢、世帯の所得、世帯の構成にかかわらず、4月から町内すべての児童の保育料を無償化します。
※一時保育を利用する方は一時保育料がかかります

児童手当が拡充されます

- ・所得制限が撤廃されます。
- ・支給期間が高校生年代まで延長されます。
- ・第3子以降は支給額月額3万円になります。
- ・支給回数が年3回から年6回になります。
- ・10月分の児童手当から拡充されます。
(拡充後の最初の支払いは12月)



芭露保育所の改築

芭露保育所の改築を進めています。
令和6年度は実施設計を行います。

子ども家庭総合支援拠点を設置

児童虐待の対応拠点として子ども家庭総合支援拠点を設置します。

新庁舎建設等基本計画の策定に向け答申

刈田町長に答申書が手渡されました

3月29日（金）、湧別町新庁舎建設等基本計画の策定に係る新庁舎に求められる機能、規模、その他新庁舎建設等基本計画の策定に必要な事項について、湧別町庁舎等検討委員会（基本計画）の高橋直司委員長から刈田町長に答申書が手渡されました。

今回の答申は、管内の先進事例視察を含めた4回にわたり検討委員会で検討・審議が行われたものがまとめられたものです。

答申を受け刈田町長は、「本当に時間のない中、答申いただき誠にありがとうございました。これまで自治基本条例に基づき手続きを進めていますように、今回策定します基本計画を基本としながら、今後進める予定であります基本設計、実施設計に取り組んでまいりたいと考えています。」と感謝の気持ちを伝えました。

今後は、答申の内容を町として検討し、基本計画に盛り込むべきかなどを判断した後、議会への説明、町民説明会の開催、パブリックコメント（意見募集）を実施し、基本計画の策定を進める予定です。

※審議の詳細内容はこちら



町ホームページ



1月10日の第1回から4回にわたり視察・検討・審議が行われてきた「新庁舎建設等基本計画」についての答申書を手渡す高橋委員長

今後のスケジュール

答申内容を基本計画に盛り込むかべきかなどを町として検討



議会への説明
町民説明会の開催
パブリックコメント



基本計画の策定

答申の主な内容

- 視察した際にZEBReady（ZEBを見据えた高断熱化・高効率な省エネルギー設備を備えた建物のこと）の取り組みの説明を受け、とても良いものだと感じた。その様な取り組みを町が率先して導入していただきたいので、検討ではなくもっと前向きな文言にしていきたい。
- 今後の基本設計・実施設計において、将来的な人口減少やデジタル化などを見据えながら、さまざまな変化に対応可能なシンプルで機能的な使いやすい庁舎となるよう努めていただきたい。
- 議会中継の環境整備についてはすでに記載されているが、開かれた議会を目指すのならば、インターネットでの発信をぜひ実施していただきたい。
- 近年の著しい物価高騰などを踏まえ、将来の財政的な負担も考慮し、建設費・維持管理費などの低減が図られるよう努めていただきたい。



予算編成

歳入

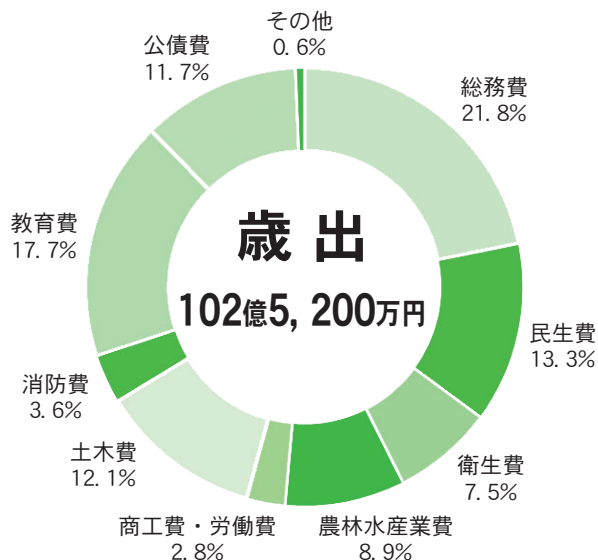
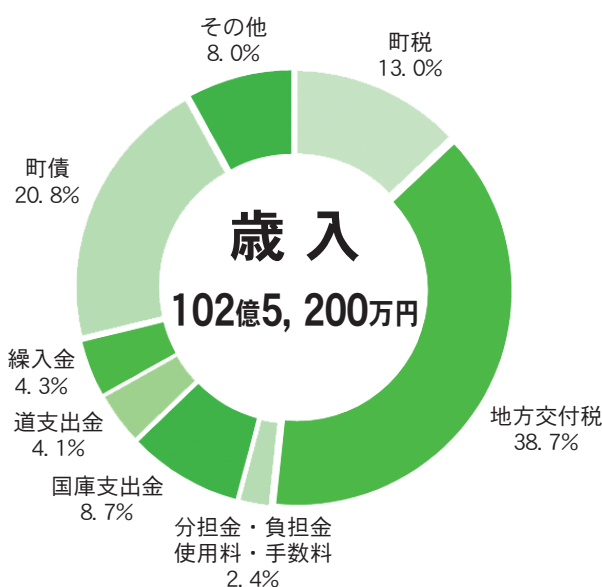
町税は、農業・漁業所得が好調だった昨年度よりはやや落ち込む見込みであり、5,969万円減の13億2,972万円を計上。

歳入の38%以上と大きな割合を占める地方交付税は、国の配分額などを勘案し5,000万円増の39億7,000万円を計上。

歳出

予算を圧縮しながらも、限られた財源と我が町の保有する資源を最大限有効に活用し、①ゼロカーボンの推進、②子育てしやすいまちづくり、③産学官連携によるまちづくり、④自治体デジタルトランスフォーメーションの推進、⑤行政機能の集約化の5点を重点施策として掲げた、積極的な予算編成。

不足する財源は基金に頼らざるを得ず、財政調整基金から3億6,100万円、特定目的基金から8,200万円を繰り入れし、収支の均衡を図っています。

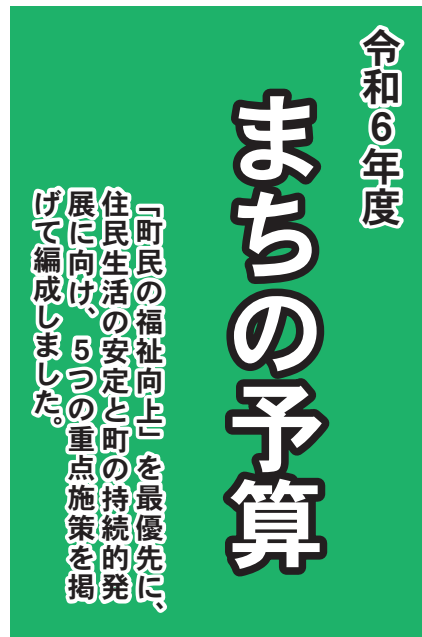


(単位：千円)

項目	説明	予算額	前年比
町税	町民税など、皆さんが町に納める税金	1,329,715	△ 59,687
地方交付税	一定の行政水準維持のため国から交付されるお金	3,970,000	50,000
分担金・負担金 使用料・手数料	施設の使用料や手数料など	246,922	△ 66,355
国庫支出金	使い道を指定し、国から交付されるお金	894,629	83,598
道支出金	使い道を指定し、道から交付されるお金	414,760	△ 197,930
繰入金	町の基金(貯金)から繰り入れするお金	443,000	140,330
町債	町が事業などを行うために国などから借入れるお金	2,131,800	164,400
その他	地方譲与税、地方消費税交付金など	821,174	△ 98,356
合計		10,252,000	16,000

(単位：千円)

項目	説明	予算額	前年比
総務費	人件費・財産管理など管理運営に使われるお金	2,238,462	44,371
民生費	社会福祉や生活扶助に使われるお金	1,359,399	68,144
衛生費	ゴミ処理、医療費助成などに使われるお金	765,080	△ 255,972
農林水産業費	農林水産業の振興に使われるお金	908,131	△ 295,936
商工費・労働費	商工業の振興、雇用対策等に使われるお金	290,280	△ 18,655
土木費	道路整備・町営住宅の整備や管理に使われるお金	1,240,020	△ 1,437
消防費	消防活動・災害対策に使われるお金	366,671	△ 12,216
教育費	教育・文化・スポーツなど教育活動に使われるお金	1,817,214	475,316
公債費	町債(借入金)を返済するために使われるお金	1,200,696	11,495
その他	議会費・災害復旧費・予備費など	66,047	890
合計		10,252,000	16,000



令和6年度会計予算

一般会計	102億5,200万円 (0.2%増)
国民健康保険特別会計	14億8,640万円 (1.6%減)
後期高齢者医療特別会計	1億8,440万円 (12.6%増)
介護保険特別会計	11億5,400万円 (1.1%増)
水道事業会計	2億6,980万円 (4.0%増)
簡易水道事業会計 *	1億3,370万円 (—)
下水道事業会計 *	6億710万円 (—)
7会計合計	140億8,740万円 (2.1%増)

※ () は対前年比

*特別会計から公営企業会計へ移行したもので、公営企業会計とは、事業収入を主な財源とし独立採算の原則により経理する会計です。

町民一人当たりの町税負担額
16万8,403円

※町税額を令和6年3月31日現在の人口 7,896人で除して算出

町民一人当たりが受ける行政サービス額
129万8,378円

※歳出総額を令和6年3月31日現在の人口 7,896人で除して算出

令和6年度の重点施策事業

※1万円未満は切り捨てて掲載しています

ゼロカーボンの推進

ゼロカーボン推進協議会の設置、審議	22万円
地球温暖化対策実行計画 「区域施策編」策定事業	1,163万円
公共施設照明LED化推進事業	7,340万円
EV公用車導入事業	1,175万円
藻場造成プロジェクト実証事業	600万円

子育てしやすいまちづくり

児童手当支給事業	9,427万円
芭露保育所整備事業	2,200万円
保育料完全無償化事業	1,461万円

産学官連携によるまちづくり

地域力創造アドバイザー招聘事業	560万円
保育園留学事業	825万円
移住体験住宅整備事業	1,540万円
産業間ネットワーク事業	980万円
特産品(日本酒)PR・海洋熟成実証事業	339万円

自治体デジタルトランスフォーメーションの推進

基幹業務システム標準化事業	4,707万円
庁内DX化推進事業	535万円
窓口支援システム導入事業	274万円
図書館システムマイナンバーカード連携改修事業	129万円
防災GISハザードマップ整備事業	496万円

令和6年度の主な事業とその事業費

※1万円未満は切り捨てて掲載しています

総務費

ふるさと納税推進に要する経費	1億343万円
持家奨励応援補助事業	2,000万円
民間賃貸住宅等建設補助事業	1,136万円
地域おこし協力隊に要する経費	2,015万円
空家対策に要する経費	4,435万円
公設塾開設準備事業	100万円
eスポーツ推進に要する経費	763万円
町営バス運行事業(中湧別・佐呂間線の新設)	142万円
スクールバス整備事業	3,900万円

民生費

出産準備金支給事業	450万円
乳幼児等医療費に要する経費	2,820万円

衛生費

地域医療対策に要する経費	3,745万円
遠軽厚生病院財政支援および 医療機器整備補助事業	9,257万円
育児パッケージ事業	112万円
3歳児健診視力屈折検査事業	158万円
妊婦等歯科健診費用助成事業	24万円
不妊治療費助成事業	245万円

農林水産業費

新規就農者サポート補助事業	760万円
バイオガスプラント整備事業	3億1,000万円
民有林造林推進事業に要する経費	5,565万円
外国人技能実習生等宿舍整備事業	3,000万円
中番屋地区船揚場整備事業	3,000万円

商工費

起業支援事業	850万円
合併15周年記念事業 「ゆうべつ花火の祭典」	600万円
チューリップフェア運営に要する経費	1,822万円

土木費

西3線道路整備事業に要する経費	6,000万円
公営住宅建替事業に要する経費	2億762万円

教育費

湧別高等学校存続対策に要する経費	4,196万円
上湧別地区義務教育学校整備事業	9億8,937万円

2/28

自分で育てた小麦で作ったよ

のぞみの会ピザ作り体験

上湧別小学校の児童がピザ作りを体験しました。

これは、児童に植え付けから収穫、食べるまでを体験してもらいたいとの思いから保護者など有志で立ち上げた「のぞみの会」（梶原秀喜 代表）が食育の一環として毎年実施しているもので、今年は全校児童で播種、脱穀を行い、6年生が製粉した全粒粉を用いたピザを作りました。

ピザに乗せる野菜やベーコンも児童たちで切り、思い思いに作成。熱々に焼きあがったピザを食べた児童は、「おいしいから家でも作りたい」と話し、大満足の様子でした。

地場産品加工センター



上湧別小学校の敷地内で児童が自ら育てた小麦「春よ恋」を使用

3/2

1年間の集大成のコンサート

中湧別小学校金管バンド第30回定期演奏会

30回の節目を迎えた今回の定期演奏会では、昨年9月の北海道小学生バンドフェスティバルで銀賞を受賞した「未来への挑戦 まだ見ぬ道を切り拓く若人を讃えて」や、「ディズニーメドレー」など10曲を2部構成で披露。音楽が大好きで、楽しく練習してきた子どもたちの元気一杯のステージに加え、音楽が得意な教職員や上湧別中学校・ゆうべつ学園合同バンド、湧別高校吹奏楽局との合同演奏も披露され、保護者や友人から温かい拍手が送られ、1年間の集大成のコンサートになりました。

文化センターTOM



2年生から6年生までの20人のメンバーが出演

3/2

澄んだ歌声で魅了

半崎美子コンサート・湧高卒業式サプライズ出演

本町のチューリップ応援大使としてお力添えをいただいているシンガーソングライター半崎美子さんの「明日を拓くコンサート2024」湧別公演が開催されました。

ゆうべつ活性化実行委員会（藤井伴晴 会長）が主催したもので、湧別町のイメージソング「春を受け継ぐチューリップ」など全14曲が情感を込めて歌われ、満員の約400人が半崎さんの澄んだ歌声に酔いしれました。

また、前日に行われた湧別高校の卒業証書授与式にサプライズゲストとして登場いただき、卒業生に歌のプレゼントと熱いメッセージが贈られました。

文化センターさざ波



湧別町のイメージソング「春を受け継ぐチューリップ」が町内の防災スピーカーで毎日流れているなど、町民にも馴染み深い半崎美子さん

3/3

20年の集大成

JF 湧別ほたて加工場^{しゅんこう}竣工式出演

JF 湧別ほたて加工場の見学会、竣工式および落成祝賀会が行われ、約50人が参加しました。

完成した湧別漁業協同組合（阿部俊彦 組合長）のホタテ玉冷製造工場は、毎時最大約2万3千枚を処理することができるようになる自動殻むき機（オートシェラー）4機のほか、省人化、衛生、環境に配慮したさまざまな機械設備が導入されています。

見学会では、鮮度を保つ工夫などが説明され、参加者は最新の技術や徹底した衛生管理に驚いていました。

湧別漁港用地内（湧鮮館 向かい）



湧別漁業協同組合 ホタテ玉冷製造20年の技術が詰まったJF 湧別ほたて加工場



3/19 地域振興として50万円



㈱吉田設備工業の辻本久継専務

3/
19~29

寄付をありがとうございます

吉田設備工業・中川組・渡辺組

㈱吉田設備工業の辻本久継専務、㈱渡辺組の渡辺勇喜社長、㈱中川組の森光弘社長が役場を訪れ、町に対して寄付をされました。

刈田町長は「町の財政が厳しいなか、頂きました貴重なご寄付は大切に使用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

誠にありがとうございます。

3/29 湧別町まち・ひと・しごと創生推進事業費として300万円



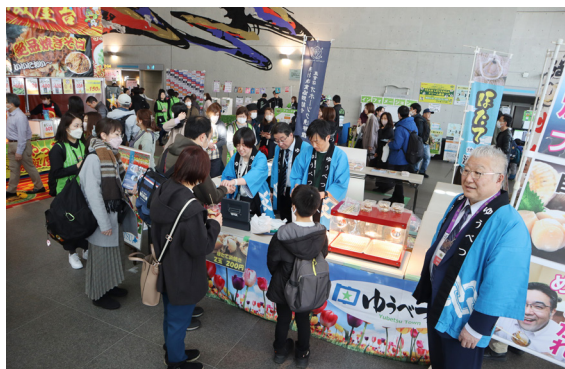
㈱渡辺組の渡辺勇喜社長

3/29 子育て支援として100万円



㈱中川組の森光弘社長

北海きたえーる（札幌市）



湧別産のホタテはとても好評で、約500食が2時間ほどで完売となりました

3/
24

レバングの試合会場で湧別をPR

来場者にホタテの浜焼きを販売

レバング北海道のホームゲーム会場で湧別のPR活動が行われました。

これは、レバング北海道と湧別町が包括連携協定を結んでいることから行われたもので、ホタテの浜焼きが販売されたほか、来場者に抽選でソフト貝柱など、MVP選手に湧別町長賞としてホタテ貝柱が贈呈されました。

また、同日に湧別町出身の関野剛平選手の後援会による応援ツアーも開催され、ツアーに参加した湧別ミニバスケットボールクラブの子どもたちが、激戦を繰り広げるレバングを応援しました。



関野選手からのサインに目を輝かせて喜ぶ湧別ミニバスケットボールクラブの子どもたち

試合終了後には、ツアー参加者と出場したばかりの選手たちとの記念撮影が行われたほか、関野剛平選手から子どもたちにボールやユニフォームへサインのプレゼントがありました。



3/
24

ハマナスの花の咲くころⅢ

町民芝居ゆうべつ第20回公演

町民芝居ゆうべつ（座長 長谷川洋さん）の第20回公演が行われました。

町民芝居ゆうべつは、毎年、湧別町の歴史上の出来事など地域に根ざしたオリジナル演劇を上演している劇団で、節目となる20回目は、湧別前浜での機雷爆発事故を題材に第1回公演で演じられた「ハマナスの花の咲くころ」を一部改変したものを上演。亡くなった方々の思いを胸に、残された者が今をどう生きるべきなのかを訴えかける内容と洗練された演技に観客は、魅了されていました。

文化センターさざ波



団員の迫真の演技に観客から惜しめない拍手が送られていました

4/
1

湧別町消防団に新団長が就任

高橋直司 新団長

～ご挨拶～

このたび、4月1日付けをもちまして、前団長伊藤務より湧別町消防団団長を引き継ぎました高橋直司です。

団長の重職に就任するに当たり、その責任を痛感しているところです。湧別町民の安心安全のため微力ではございますが、団員一同、尽力させていただく所存です。

4月1日付けで就任した高橋直司さん



消防団員数の減少、高齢化等の課題に直面しており、地域の防災力の低下が危惧されています。入団希望の方はお問い合わせください。

新団長の紹介

氏名：高橋 直司（上湧別屯田市街地）71歳

職業：高橋写真館

経歴：昭和52年4月15日入団（前職：副団長）

新しい外国語指導助手（ALT）が着任

新ALTにハナコ・ウィルソンさんが着任しました。

ハナコさんは、中学生の時に交換留学生として湧別町に来町しており、また湧別町に戻ってきて働くことを強く希望しておりました。湧別町での生活を楽しみにしていますので、町で見かけましたら、気軽に声をかけてください！



ハナコ・ウィルソンさんから皆さんへ

こんにちは。ハナコ・ウィルソン22歳です。4月にニュージーランドのセルウィン町から湧別町にALTとして引っ越してきました。

私は、2016年に交換留学生として2カ月間、湧別町での生活を経験しました。その時のホストファミリーや友人、親切な湧別の人たちと再会し、また思い出を重ねられることをとても楽しみにしています。

私は、ニュージーランドの南島にあるオタゴ大学で4年間、日本語と遺伝学を専攻し、考古学を副専攻しました。趣味はフィールドホッケー、かぎ針編み、読書です。私は日本文化についてもっと学び、また、湧別町の人たちにニュージーランド文化を紹介したいと思っています。

いろいろな話題について話したいので、気軽に

声をかけてください。皆さんと共通な話題を見つきたいです！かみゆうべつチューリップ公園など湧別を散策したり、初めて本格的な冬を体験するのを楽しみにしています。

湧別の有名な魚介類や地元の食材を食べるのが楽しみでたまらないです。ぜひ、おすすめを教えてください。

一緒に英語で話しましょう！



交換留学生で来町していたときのハナコさん